

# 鈴鹿市立栄幼稚園経営計画

## 1 前年度における園経営の反省と地域・園児の実態

○本園は、田園に囲まれた自然豊かな環境の中にあるので、園児が自ら選んだ環境にかかわって遊ぶことができることに喜びを感じ、いろいろな物を試しながら、自分のやりたいことを探っている様子が感じられる。幼児一人ひとりが幼稚園生活の中で自己発揮でき、人に認められることで自分に自信がもて、自己肯定感につなげていけるようにしていきたい。また、いろいろな人とのつながりや直接体験が十分できるように教育内容や指導の工夫をしていきたい。

○保幼小中の異校種間による連携教育の推進や公民館活動、地域の資源を取り入れた交流活動などを通して、地域の中でのつながりをつくり、開かれた幼稚園づくりに努めている。平成30年度より、4歳児の入園が可能となり2年保育になった。いろいろな機会を利用して2年保育のよさを地域へ伝えていけるようにしていきたい。

## 2 園教育目標

○生きる力を育み、知・徳・体の調和のとれた心豊かな幼児の育成

○めざす子ども像

- ・元気な子ども(体)・・・基本的な生活習慣や態度を身につけ、心も体もたくましい幼児の育成
- ・友だちと仲良く遊べる子(徳)・・・人への信頼感や相手を思いやる心を育て、自分も他の人も大切にす幼児の育成
- ・気づき考える子ども(知)・・・意欲的に様々なことに興味や関心をもち、遊びを通して想像力・創造力が高まる幼児の育成

○めざす教師像

- ・元気で明るく、愛情あふれる教師
- ・教育的情熱と使命感に燃える教師
- ・真摯に学び、磨き合い、支え合える教師

## 3 園経営方針

○日々の保育実践を通して研修を深め、めざす子ども像に向けた指導力を高める。

- ・栄小学校や合川保育所、天栄中学校との交流を通して連携教育の推進に努める。
- ・少人数ならではの行き届いたきめ細やかな保育と指導の充実を図る。

○地域に信頼される開かれた園づくりに努める。

- ・園と家庭、地域との連携を深め、より開かれた園づくりに努める。
- ・公民館活動への参加、未就園児や保護者に園を開放し、地域に開かれた園づくりに努める。

## 4 本年度の重点目標と達成方策

○日々の保育内容を見直し、幼児一人ひとりの発達に応じた指導に努める。

○保幼小中の異校種間による連携教育の推進に努める。(栄小学校との連携・校区小学校交流・天栄中学校交流・合川保育所との交流)

○保護者との連携を深める。(連絡ノートやクラスだより、個人懇談会等を通して、遊びの中での幼児の育ちについて具体的に伝え、家庭との相互理解を深める)

○公民館活動、未就園児への園開放による交流活動を通して地域に根ざした開かれた園づくりに努める。

○危機管理意識を高め、命を大切にする教育の推進に努める。(交通安全教室・防犯教室・防災教室の充実)